

はだしで走り回る園児が見たい！ 庄原幼稚園庭で芝生化の取り組み

REPORT 4

庄原幼稚園の園庭で6月25日、芝生の植え付け活動が行われました。

この取り組みは、転んでもけがの少ない芝生の上で、庄原の子どもたちにはだしで思い切り走り回ってほしいという思いから、社団法人庄原青年会議所が企画。



▲みんなで協力して植え付けました

当日は晴天の下、園児や保護者、庄原実業高校の生徒、青年会議所のメンバーなど総勢

約130人が参加し、500平方メートルの園庭に用意した芝生ポット2000株を一つ一つ丁寧に植え付けていきました。

作業を終えた後、庄原実業高校の生徒が制作した「芝生のことがよくわかる紙芝居」を鑑賞。芝生についてみんなで楽しく学びました。

現在は関係者が協力して、水やりや芝刈りなどの育成作業を行っており、芝生の上を園児が走り回る日を待ち望んでいます。

芝の様子やこれまでの育成過程は、ブログ「はだしで駆け回ろう！～芝生化計画in庄原～」(<http://kouheitan.seesaa.net/>)でご覧になれます。

国営備北丘陵公園と連携して花と緑のまちづくり しょうばら花会議月例ガーデニング実習・講習会

REPORT 5

身近な玄関先から花と緑のまちづくりを目指して活動している「しょうばら花会議」は、ガーデニング技術の向上と同じ趣味を持つ人との交流を目的に、毎月第3日曜日、国営備北丘陵公園で「月例ガーデニング実習・講習会」を開催しています。

しょうばら花会議のメンバーは、5月15日に夏花壇の植え込みと庭造り、6月19日には樹木の剪定と挿し木の仕方、苔玉づくりを学びました。

公園の植栽を担当し、講習会の講師を務める齋木義伸さんは「花好きな人が増えれば、市内に花と緑が増える。参加された方の自宅の玄関や庭先から、美しい景観

づくりへ発展すればうれしい」と期待していました。

興味のある方は、しょうばら花会議事務局(☎0824-73-1178)まで。



▲楽しく実習する参加者

次世代につなげたい看護の心とわざ ナイチンゲールフェスティバル

REPORT 6

庄原市の地域医療を考える会(構成団体 庄原市医師会・庄原赤十字病院・庄原市)による「ナイチンゲールフェスティバル」が7月10日、庄原市民会館で開催されました。

この催しは、看護師が日々感じている看護の素晴らしさをより多くの方々に伝え、看護師の人材育成や看護師確保につなげることを目的に行われたものです。

当日は、ナイチンゲールをテーマにした日本赤十字看護大学の川嶋みどりさんによる講演と映画「看護覚え書」が上映され、来場した約600人は、ナイチンゲールの「看護の心とわざ」に触れ感動している様子でした。

ロビーでは「命をつむぐ地域と医療のコラボレーショ

ン」と題した展示も行われ、地域と医療のつながりの大切さと看護師が真に伝えたい看護をパネルや手作りの展示物などで表現。庄原格致高校による写真展や庄原実業高校



▲ロビー展示の様子

による地産地消の野菜市なども行われました。

庄原赤十字病院看護師の楨原芙美子さんは「多くの学生の方にも来ていただいた。看護職に興味を持つきっかけづくりになればうれしい」と話していました。

大規模災害への備えを地域ぐるみで 西城街区総合防災訓練

REPORT 1

大規模災害を想定した西城街区総合防災訓練が6月12日、西城町市街地周辺で実施されました。

この訓練には、五町自治振興区を中心に消防団や地域住民など10団体286人が参加しました。

「地震発生により住宅や山林から火災が発生し多数の負傷者が出た」との想定のもと、山林火災への放水訓練、西城小学校への避難訓練、救護活動、バケツリレーや炊き出し訓練を行いました。

地域住民が参加して行われたバケツリレーでは、最初は呼吸が合わずバケツを渡す手が止まる場面もありましたが、次第に声を掛け合いながらうまくタイミングを合わ

せ、バケツをリレーしていました。

五町自治振興区の堂本時和会長は「訓練を通じて地域コミュニティの力を確認することができた。今後の課題は高齢者への対応や各常会の団結力を高めること。安心、安全な地域づくりを目指していきたい」と話していました。



▲バケツリレー ▲消防団員が誘導しての避難訓練

伝統の舞を堪能する一日 ひろしま夏の芸術祭「ミニ神楽公演」

REPORT 2

広島県が県内各地で実施する「ミニ神楽公演」が7月19日、庄原市民会館で開催されました。

この日出演したのは、北広島町の山王神楽団と田森保育所のちびっこ神楽団。

山王神楽団は、7匹の大蛇が舞う壮大な演目「八岐大蛇」で勇壮華麗な演舞を余すことなく披露。集まった約600人の来場者は終始魅了されていました。

また、田森保育所の3歳から6歳の園児たち11人が、国の無形民俗文化財「比婆荒神神楽」の伝統を引き継ぐ舞

を披露。かわいらしい姿で一生命に演じる子どもたちに客席から大きな歓声と拍手が上がっていました。



▲田森保育所の園児

子ども会活動の指導者育成に熱 第44回広島県子ども会健全育成大会

REPORT 3



▲レクリエーション指導の様子

「第44回広島県子ども会健全育成大会庄原大会」が6月26日、東城支所で開催されました。

この大会は、子ども会活動を指導する指導者の実践力を高めることを目的に、会場を県内の各市町に移しながら毎年開催されているもので、庄原市では6年ぶり東城町としては24年ぶりに開催されました。

当日は県内各地から参加した156人が、技術指導・レクリエーション指導・パネルディスカッション・ロケットクラ

フトの製作を行いました。

技術指導では、寺西玉実さんが「紙芝居の枠」を使って、台詞の間の取り方やおじいさん・おばあさん・乳児の声の演じ分けを指導。参加者は声を出して練習を行い、苦戦しながらも演じ分けに挑戦していました。

レクリエーション指導では、藤田伸史さんが体を使ったレクリエーションを参加者と行いました。藤田さんは「指導者は参加者が楽しめるように、自分の気持ちや周りを見る目をコントロールすることが大切」とアドバイスしていました。

庄原市子ども会連合会会長の迫田高則さんは「子どもは地域の宝であり、地域で子どもを育てるのが子ども会活動。この大会が、地域の子をわが子と同じように育てることを見直すよい機会になった」と話していました。

被災地にもとめる希望の光 大屋ほたる見会&ほたる見カフェ

REPORT 10

西城町の自治振興区大屋今櫛会が主催するほたる見会とほたる見カフェが7月2日、大屋多目的集会所周辺で開催されました。

20年来続くほたる見会は、集会所近くの川沿いをみんなで散策し、蛍の乱舞を楽しむイベントとして親しまれているもので、一昨年からは、この大屋の美しい自然の中に、地元の産物を使った料理でもてなす空間「ほたる見カフェ」をオープン。

今年は大屋地域の住民が実行員会を組織し、メニューづくりなどの準備を進めました。地元産のそば粉や野菜、西城産の夏いちごなど、旬の食材に工夫を凝らした品々は、地域内外から訪れた80人から大好評。お話会ダンボによる絵本の読み聞かせ、ヒバゴン紙芝居、地元の若者グループによるバンド演奏も会場を盛り上げまし

た。昨年の豪雨災害の影響によるで一時期開催が危ぶまれましたが、「蛍の姿を少しでも見ることができれば、みんながんばっていく励みになる」との声が開催への後押しとなりました。

広島市内から参加した女性は「こんなに大きく力強く光る蛍を初めて見た。まるで大屋地域の人たちのよう」と感動していました。



▲バンド演奏で盛り上がる会場

音色が誘う無数の光 総領保育所で「ほたる見コンサート」

REPORT 11



▲クラフトかごづくり

総領自治振興区の協力のもと総領保育所と子育て支援センターが共同で6月17日、ほたる見コンサートを開催しました。

当日は、庄原格致高校吹奏楽部の5人が、フルート、クラリネット、アルトサクソ、ピアノによる演奏でディズニーメドレーなど4曲を披露。集まった園児や保護者、地域の方など約90人は、すてきな音色を楽しんでいました。

園庭にカンテラや田総川をイメージした光の川、室内

には光のカーテンなどを作成。クラフト籠作りにも挑戦し、大人も子どもも夢中になって作っていました。

夕刻、園内に飾った光のファンタジーを楽しんだ後、保育所前に流れる田総川周辺をホタル探索。園児たちは、ほのかな光を放つたくさんのホタルに出会うと「わ～きれい」「すごいね」とみんな大喜びでした。



▲庄原格致高校吹奏楽部による演奏

グラウンドに気合と汗 庄原市消防団幹部訓練が実施

REPORT 12

庄原市消防団幹部訓練が7月10日、高野スポーツ広場で行われました。

当日は、上原清司消防団長をはじめとする市内の各方面隊幹部総勢163人が集結。真夏を思わせる炎天下の中、各個訓練や部隊訓練など大きな掛け声を会場に響かせながら約3時間にわたり、汗を流しました。

参加者は、昨年の庄原ゲリラ豪雨災害、東日本大震災などを教訓に、一つ一つの動作を真剣に取り組んでいます。

上原団長は「これから台風の接近による大雨も予想される。有事における団の統率、そのための訓練は極めて重要」と話していました。



▲左、左、左、右！連続歩調呼称

住宅デーに喜びの笑顔が広がる 広島県建設労働組合12地域連合庄原が奉仕活動

REPORT 7

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、市内各地で建設労働組合による技術奉仕活動が展開されました。庄原・東城・西城地区では、保育所・子育て支援センターや小学校を修繕、高野・口和地域では、一人暮らしの高齢者宅の修繕などが行われました。

東城地域では、12人の組合員が八幡・田森保育所の二手に別れ、階段や屋根などを修繕。園児たちは「わあ！きれいになってる！」「すごいね！」と歓声を上げていました。保護者からも「子どもた



▲テラス屋根を新設(三田市保育所)

ちの過ごす環境がよくなった」と喜びの声が上がっていました。

高野地域では12人の組合員が参加し、6戸を手分けして訪問。雨漏りの修繕や切れが悪くなった包丁や鎌などの刃物研ぎを行いました。

12地域連合庄原高野地区長の奥山福夫さんは「今後もこうした取り組みを継続し、地域の安心・安全に少しでも貢献したい」と話していました。



▲広島県建設労働組合12地域連合庄原高野地区の皆さん

地産で安心安全の給食を 学校給食へ地元新鮮野菜を提供

REPORT 8



▲楽しい給食時間

庄原市PTA連合会口和支部は6月20日、口和学校給食共同調理場へ地元産の野菜を届けました。

この活動は、子どもたちに安心安全な給食を食べてほしいと同支部独自の活動として毎年行っているもので、6月・9月・11月に旬の野菜を提供しています。

地元の新鮮食材でおいしく食べられることはもちろん、給食のメニュー全体の質の向上にも大きく貢献しています。

この日保護者の皆さんや地域の皆さんから持ち込まれた野菜は、たまねぎやキャベツなど17品目、約300kg。

口和学校給食共同調理場の栄養主任藤原美穂さんは「地元で採れたたくさんの野菜を子どもたちに食べさせることができ、とてもありがたい。保護者や地域の方の子どもたちを思う気持ちが伝わってくる」と喜んでいました。



▲野菜を持ち込むPTA役員

交通安全活動の功績を称えて 安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞

REPORT 9



中村 勳さん(東本町)が7月1日、総理大臣官邸で「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受けました。

この表彰は、毎年7月1日の「国民安全の日」に合わせ、安全思想の普及徹底と安全水準の向上に顕著な功績のあった人に贈られるものです。

中村さんは、昭和52年から交通安全推進隊の一員として率先して通学路における街頭指導に取り組んでいるほか、児童を対象とした交通安全教室を定期的に行っている。また、昭和35年に免許を取得以来、無事故・無違反を継続するなど自ら安全運転の模範を示しています。

中村さんは「交通安全活動は、日々の地道な活動の積み重ねが重要。目に見えない活動を評価していただき大変ありがたく思う。今後も『人の命を大切に』をモットーに活動していく」と心新たに話していました。